



国際ロータリー第 2840 地区 2024～2025 年度

MAEBASHI HIGASHI ROTARY CLUB

クラブ会報



会長 藤原 崇史 幹事 小山 京子 会報・公共イメージ委員長 宮崎 真一 編集者 宮崎 真一
 事務局／〒371-0847 前橋市大友町1丁目2番11号ロイヤルチェスター前橋内 TEL. 027-252-7907 FAX. 027-252-7926
 E-mail maebashi-higashi@rid2840.jp URL <http://www.rid2840.jp/maebashi-higashi> (10時～16時 休日 毎週火曜日)

2025年 2月 13日 (木) 第2216回 例会報告

点 鐘 藤原 崇史 会長
 ロータリーソング 我等の生業

会長の時間 藤原 崇史 会長



本日の会長の時間は『例会』の『例会回数』について話したいと思います。2/12 昨日は友好クラブ、魚沼ロータリークラブが例会回数 3,000 回でした。当初、記念例会を行うということで招待したいと打診があったのですが、私たち以外の友好クラブの出席が叶わないことから結果的に無くなりましたが、魚沼RC単独で記念例会をするとのことでしたのでお祝いのお花を前橋東ロータリークラブとして個人的に贈らせていただきました。恥ずかしながら入会してから今の今まで例会回数に対して意識したことがありませんでした。因みに当クラブは本日で何回目の例会だと思いますか？の右側にあるホワイトボードに答えがございます。本日で 2,216 回目の例会でございます。この例会回数というのは年度ごとでリセットされることなく前橋東RCが設立された時から例会ごとに刻まれていきます。私が48目の会長になりますので48年かけて 2,216 回の例会を行ってきたことになります。例会は幹事の責任で行うのが一般的となりますので約48人の幹事が1年間一生懸命試行錯誤しながら例会を取り仕切り、本日 2,216 回目の例会を迎えられたわけであります。そして 2,216 回目の会長の時間を私が今やっているわけでございます。改めて例会回数に思いを馳せてみれば、楽しいこと悲しいこと様々なことが、この例会で起こってきた。そんな先輩達の思いがくみ取れるものでございます。私の年度で節目にあたる例会がなかったかどうか確認してみました。そしたら何と 2,200 回目の例会がありました。何も触れず、何事もなかったことのようにしてしまったこと、大いに反省した次第でございます。改めて 2,200 回例会はどんな例会だったのか振り返ってみましたら、非常にご縁だなあと驚いたのですが、設楽名誉会員のお別れの会をした例会でございました。お亡くなりになってからも私のことを守ってくれたのか、心温まる思いをいたしました。設楽名誉会員は当クラブのチャーターメンバーなので記念すべき1977年7月の第1回例会に参加し、2024年9月5日に行った第 2,200 回例会でお別れの会をしたという。奇跡。お亡くなりになる直前やお亡くなりになられてからは当然ですが、例会に参加できない時期もありましたが、実に 2,200 回ロータリーとともに生きてきたんだなあとと思うと、後輩の私が言うのも生意気ですが、生粋のロータリアンであり、ロータリーきちがいには違いありません。改めて良きロータリー人生だった。と思わずにはいられません。そしてまもなく50周年を迎えます。50周年の記念事業決行日は 2,300 回目の例会でやるのも面白いなと思った次第です。今月末で 2,217 回目の例会。私の年度終わりで、2,229 回、川嶋年度の終わりで 2,265 回、ちょうど50代の釘島年度の終わりが 2,301 回なので、調整して月4回例会をしたり、何かの行事を例会行事にしていけば 2,300 回目の例会で記念事業もできそうかななんて勝手に思いました。

例会回数というのは年輪と一緒に何年、何十年と積み重ねていくものです。節目にあたる50周年に 2,300 回例会で行うことができれば、毎回の例会の時に今回の例会で何回目だろうってカウントダウンみたいに皆も気にしてくれるかもしれませんし、5年後10年後に振り返った時に特別な思い出となるかもしれません。風景として何気なく通りすぎるものに、さりげない仕掛けをする。そんなクラブも素敵だなあと思いました。

以上で本日の会長の時間を終わります。

2025/2/13

幹事報告 小山 京子 幹事



- 1) 各テーブルに3月度、『ロータリーの友』の目次を置いております。ご覧ください。
- 2) 『新会員セミナー・交流会のご案内』 2025/3/20 前橋問屋町センター会館にて新会員セミナー・懇親会が行われます。対象は入会5年までの新会員で、当クラブの対象者は30名です。皆様の、ご出席をお願いいたします。
- 3) 『国際ロータリー第2840地区ロータアクト第23回地区年次大会登録のご案内』が届いておりますが、3月8日の当日は第37回あすなろ祭に例会参加となっておりますのでご了承ください。
- 4) 『国際ロータリー元理事 重田正信 儀 偲ぶ会』の案内が届いております。2025/3/31 ホテルメトロポリタン高崎・午後2時開式 献花(午後4時まで) ご出席者は、2/28までに出席登録を事務局をお願いいたします。

出席報告

	会員数	休会者	出席者	欠席者	補填者	率
本日	51(51)	0	20(4)	31		40.82%
前々回	51(51)	0	29(4)	22	9	77.55%

※特別会員A(補欠法人会員)出席者 0名・特別会員B 出席者 0名

◆1月度平均出席率・・・82.40%

ニコニコBOX報告 小栗 和磨 委員

(順不同)



藤原会長・小山幹事: 本日もよろしくお願いします。
川嶋 潤会長エレクト: 1日遅れてしまいましたが、小山さん、お誕生日おめでとうございます。
内山 均 さん: 上期の決算報告をさせていただきます。
木村 清高 さん: 本日は強風の中、大変ですね～
釘島 伸博 さん: いつも大変お世話になり感謝します！

鈴木 みづえ さん: 本日もよろしくお願いいたします。

高木 清成 さん: 本日も宜しくお願い致します。

クラブ協議会

『2024 ～ 2025年度 上半期決算報告 及び 細則変更決議』

1. 開会宣言 川嶋 潤 会長エレクト
2. 会長挨拶 藤原 崇史 会長
3. 議長選出 藤原 崇史 会長
4. 例会決議 成立宣言 小山 京子 幹事



会員総数 59名・投票権を有する会員 51名・出席者 20名、
細則第5条第3節により会員総数の1/3以上の出席をもって定足数とするので、例会決議は成立致します。

5. 議案 本日の議題は第1号議案～第3号議案です。

第3号議案

- ・その他
その他の議案をお持ちでない場合は第3号議案のその他の削除をお願い致します。

第1号議案

- ・上半期決算報告について 内山 均 会計
※配布済みの決算書をご参照下さい



採 決 この件につきまして何かご意見、ご質問はございますか？



質問者：木村清高さん

ご承認いただける方は挙手をもってご承認ください。

(举手)

ありがとうございました。

続きまして、

第 2 号議案

・細則改正について 小山 京子 幹事

名誉会員の適格要件について、以下の様に致します。

【現在】第14条 会員選挙の方法 第7節 名誉会員
クラブは、標準ロータリークラブ定款に従い、理事会により推薦された
名誉会員を選ぶことができる。

【変更】第14条 会員選挙の方法 第7節 名誉会員
理事会は、本クラブを退会した正会員が、以下の要件を充たす場合、名誉会員に選ぶことができる。

- 1 長年に亘りクラブの発展に多大な貢献をし、クラブの誇りとなるような活動を行い、成果を上げたこと
- 2 特例として、国会議員、県知事、市長に選任された場合

採 決

この件につきまして何かご意見、ご質問はございますか？



ご承認いただける方は挙手をもってご承認ください。

(举手)



6. 閉会宣言

川嶋 潤 会長エレクト



点 鐘 藤原 崇史 会長

~~~~~

『2024～2025年度 ニコニコBOX累計額』 500,000 円

~~~~~

★ 編集後記 ★ 会報・公共イメージ委員会 宮崎 真一委員長

皆さま、お疲れ様です。沢山の質疑応答につき、盛り上がりましたクラブ協議会、楽しいお時間でした。質疑応答は、予め、準備しておくとの事、良い勉強となりました。

さて、私ごとですが、最近、新しいアルバイトが入りまして、近年、稀に見る、真面目で頑張り屋さんでして、写真を自分の元で学びたいという事で、日常業務以外に、久々に、教育に、充実した日々を送っております。これは、非常に嬉しい事でして、こうした人が、1人でも多く増えて、写真業界を真っ当にして欲しい、と心から願うばかりです。

ハッキリ言って、写真業界、ほぼ、まともな人が居りません。良いカメラを買えば、簡単に撮れるという感覚で、一切学ばず、いきなり、どうやって稼ぐかという、中身が空っぽの、張りぼての方法論のみで、人様から簡単に大事なお金を取ってしまう様な、残念な輩が多いのが、この業界です。

しかしながら、そもそも、お金が多く稼げる様な業界ではなく、お金稼ぎが目的なら、別の事をやった方が良い訳でして、つまり、はなから、写真撮影で、お金稼ぎを目的とした時点で、間違っているのです。

写真とは時間の美学、瞬間美と言われており、この時ばかりの特別な時、シーン、時代を、使命感と責任感を持って懸命に写し、決して戻る事の出来ない今（過去）を、未来へと紡ぎ、想いをリバイバルさせる事。これこそが、写真の真意であり、それを、我々プロのフォトグラファーは、如何に、リアルに残すか、潜在ニーズを汲み取って残せるか、情熱的に促せるか、が、肝でして、それは、お金目的だけの、にわか仕込みでは、決して、成せない心技なのです。

記憶とは、儚いもの。だから人は、記録として、残そうとする。今では、それを残すだけなら、スマホ等で、簡単に出来る時代となりました。

では、プロのフォトグラファーに、お金をわざわざかけて頼む意義とは何なのか。

上記した、真意と肝こそが、答えではありますが、コロナを通して、大事な事がより大事な時代において、もっともっと、その意義に沿える様、精進しなければならないと思っております。

最後に、自分が、それを、やる事の意味。この、ロータリーも、自分が所属して奉仕する意味も、ただ、お金を寄付して奉仕するのみではなく、いちロータリアンとして、張りぼてではなく、言葉や行動で示し、自分がここに居る意義を、しっかりと感じて活動していきたい所存でございます。